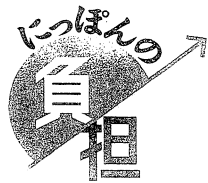


突然の「差押」 預金がゼロ



税の現場から

〈49万7496円 差押(残高)0〉
横浜市で金属加工業を営む40代の男性は昨年11月、銀行で記帳した通帳を見て驚いた。取引先からの売掛金の入金を確認しようとした時のことだ。

26-10-28	入金-770	か)	*11,434	か)	*950
26-10-31	振込	か)	*24	か)	*29
26-10-31	振込	か)	*58	か)	*84
26-10-31	入金-770	か)	*80,000	か)	*81
26-10-31	入金-770	か)	*1,362	か)	*2
26-11-05	入金-770	か)	*5,142	か)	*7
26-11-10	振込	か)	*497,496	差押	*0
26-11-10	振込	か)	*495	か)	*497
26-11-14	振込	か)	*12	か)	*12
26-11-28	振込	か)	*51	か)	*64
26-11-28	振込	か)	*119	か)	*183

売掛金の入金直後に預金を差し押さえられた通帳(一部修整しています)

市税の徴収

「均衡が第一」
横浜市は2013年度、税金の滞納に対して約3万7千件の差し押さえを実施した。人口あたりの差し押さえ件数は、20の政令指定市の中で2番目に多い。ピークの1998年度末に494億円あった滞納残高は、2014年度末は81億円まで減った。課税額に対する徴収できた額の割合を示す「徴収率」は14年度が98.7%で政令指定市中2番目に高い。

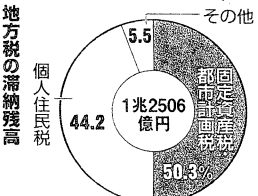
「滞納はSOS」救済の手

「ようこそ滞納いただき」
「滞納はSOS」救済の手
「滞納はSOS」救済の手
「滞納はSOS」救済の手

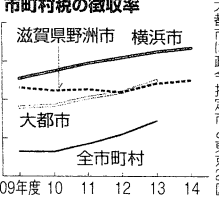
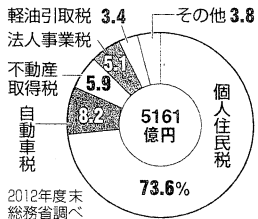
取引先に調査 契約打ち切り

別の横浜市の男性は数年前から事業が振るわず、市税(個人住民税)や国民健康保険料を滞納していた。男性は何とかお金を工面して納めることだったが、市の担当者は取引先が男性に支払う予定の売掛金を差し押さえようとした。担当者が売掛金の「調査」として取引先に連絡したため、大半の取引先が男性の滞納を知ることになった。

(市町村税)



(都道府県税)



市町村	人口千人あたり	差押え件数
札幌市	6.9	13,292
仙台市	5.3	5,555
茨城県	4.8	6,002
新潟市	6.1	5,848
横浜市	2.8	37,177
川崎市	2.1	4,077
横浜市	2.1	1,524
横浜市	3.8	3,074
新潟市	2.8	1,982
新潟市	6.8	5,514
新潟市	6.6	14,935
新潟市	6.5	9,271
新潟市	6.8	17,998
新潟市	5.0	4,281
新潟市	5.3	8,194
新潟市	15.7	11,056
新潟市	3.2	3,812
新潟市	9.0	8,842
新潟市	9.7	14,230
新潟市	3.7	2,726
新潟市	6.6	2,726
新潟市	4.8	43,153



野州市の市民生活相談課

「滞納はSOS」救済の手
「滞納はSOS」救済の手
「滞納はSOS」救済の手

解説 自治体の姿勢に差

「滞納はSOS」救済の手
「滞納はSOS」救済の手
「滞納はSOS」救済の手

「滞納はSOS」救済の手
「滞納はSOS」救済の手
「滞納はSOS」救済の手